

## 令和3年第11回教育委員会議事録

開催日時 令和3年11月26日(金)  
午前9時00分～午前10時30分

場所 八潮市立資料館

出席者 教育長 井上 正人  
教育長職務代理者 加藤 正道  
委員 木下 史江  
委員 高橋 洋一  
委員 田口 理恵

事務局出席者 教育総務部長 荒浪 淳  
学校教育部長 山本 誠  
教育総務部副部長兼教育総務課長  
千葉 靖志  
教育総務部副部長兼社会教育課長  
井上 隆雄  
学校教育部副部長 田口 周一  
社会教育課主幹 小林 勝巳  
文化財保護課長 高山 治  
学務課長 山内 修  
指導課長兼小中一貫教育推進室長  
千嶋 淳一

学校 ICT 推進課長 菅 谷 昌 史

教育総務課庶務係長 関 根 郁 也

教育総務課庶務係主任 武 内 由 紀

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和3年第10回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [ 別紙のとおり ]

3. 議 題

議案第38号 [ 説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長 ]

令和3年度八潮市一般会計補正予算案の提出について

教育に関する事務に係る部分の歳出補正予算を八潮市長に要求することについて、議決を求める。

令和3年11月26日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 歳出予算の過不足を見込み、令和3年度八潮市一般会計補正予算案として八潮市長に要求するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○木下委員

学校 ICT 教育推進事業－10 修繕料について質問です。これは、従来から先生方が使用されている校務用 PC のものなのか、児童生徒が使用する端末なのかお聞かせください。

●菅谷学校 ICT 推進課長

校務用 PC の予算でございます。児童生徒が使用する端末は、現在保証期間中であるため、故障した場合は保証対応となります。保証期間経過後につきましては、予算化し対応してまいります。

○木下委員

体験学習推進事業－18 中学校社会体験チャレンジ事業助成金について質問です。職業体験学習の中止による補正減とのことですが、市内中学校全てにおいて中止ということによろしいでしょうか。

●千嶋指導課長兼小中一貫教育推進課長

仰るとおりでございます。

○加藤教育長職務代理者

図書館施設管理事業－14 八幡図書館・公民館大規模改修工事費について質問です。契約額の確定に伴う工事費請負、約 1 億 4, 0 0 0 万円の減額について、減額の幅がかなり大きいように感じますが、理由をお聞かせ願います。

●小林社会教育課主幹

当初予算につきましては、実施設計に基づき工事請負費の積算を行っております。入札の結果、額が確定し大幅な予算減となりましたが、仕様書に基づき業者が提示した金額であるため、明確な理由についてはっきりと申し上げることはできません。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第 3 9 号

[ 説明者 山内学務課長 ]

八潮市立小、中学校職員服務規程の一部を改正する訓令について  
八潮市立小、中学校職員服務規程（昭和 3 2 年教委規程第 1 号）の一部

を別紙のとおり改正したいので、議決を求める。

令和3年11月26日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 出勤簿を勤務整理簿に改めるとともに、各種様式の押印を廃止したいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●荒浪教育総務部長

(1) 令和3年第4回八潮市議会定例会会期及び日程について

令和3年第4回八潮市議会定例会会期及び日程でございますが、会期は11月30日から12月17日までの18日間で、12月8日が総括質疑、9日が総務文教常任委員会、14日・15日・16日が一般質問、17日に採決という予定となっております。今回、人事院勧告による職員の期末手当削減の関係で、11月中に議決し、12月の期末手当から削減の予定で11月30日から会期スタートとなっておりますが、国において、国家公務員給与法（一般職の職員の給与に関する法律）の改正が間に合わず、来年6月の期末手当から引き下げを行うことに変更になったと伺っております。本市においても国の手順に習うこととし、前回の教育委員会定例会にて議決されました、議案第37号「議会提出議案に係る意見聴取について（市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例）」につきましては、取り下げさせていただきます。

なお、一般質問につきましては、12月1日が通告日となっておりますので、後日、皆様に質問事項をお知らせいたします。

(2) 令和3年10月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

教育委員会への投書は6件ございました。内訳としましては社会教育課1件、指導課5件でございます。内容が同一の質問の場合は、まとめてご報告させていただきます。それでは、各課からご報告申し上げます。

●小林社会教育課主幹

社会教育課に寄せられた投書は1件で、「図書館の現代化をして欲しい。勉強をしたくても図書館の内装、外装の古さで身が入らない。」との内容でございました。この投書については回答を求められておりませんので、業務の参考とさせていただきますが、社会教育課といたしましては、現在、八幡図書館・公民館の大規模改修工事に着手しているところであり、そのコンセプトには、利用者にとっての居心地の良さを第一に考え、図書館では、開放的で明るい学習スペースを新設していくなど、経年劣化による内外装を直していくことの他に、施設利用の付加価値を高めていくための改修工事にも取り組んでおり、今後、市民の皆さんの幅広い学習要求や学習環境に応えられる施設となるよう、鋭意取組を進めてまいりたいと考えております。

●千嶋指導課長兼小中一貫教育推進課長

指導課に寄せられた投書は5件でございます。1件目は、「中川小の区域は毎朝保護者が交通指導をしているが、一部の市内の小学校では保護者以外の方が行っていると耳にした。実情を教えてほしい。」との内容でございました。この投書に対しましては、「市内で1校だけPTAがシルバー人材センターに委託しており、そのほかの学校は保護者が行っている。」との内容で回答いたしました。ほか4件の内容としましては、校内における教職員の車の運転に関するものや、教職員の対応等でございます。これらの投書につきましては、電話等で直接ご本人へ連絡・回答し、また各学校への周知を図ったところでございます。

●山本学校教育部長

(1) 学校生活の様子について

11月の学校生活の様子についてご報告させていただきます。

学習指導要領上では、11月は落ち着いて学習に取り組み、実力を付ける月とされております。11月12日、大原中ブロックで小中一貫教育を深める授業を行い、普段の授業の成果がよく出ていると感じました。また、社会教育課においても「いのちの授業」を開催していただきました。他校においても、11月15日、潮止中学校の教育支援担当訪問での家庭科の授業で、給食から始まり、日々の食生活を見直すといった、思考を高める非常に素晴らしい授業展開でした。柳之宮小学校では、家庭科担当の教員が指導案を作成して、1年生の学級活動の時間に担任の先生と食育の授業を実施し、その場に教育委員会の栄養士2名も参加をいたしました。また18日には松之木小学の教育支援担当訪問での国語の授業で、意欲的で思考を止めない児童たちに対し、「思考を止めさせない」といった素晴らしい授業展開をされていました。19日には八條北小学校で、英語教育強化授業の2回目、校内研修で秀明大学の一之瀬教授及び県教育委員会の先生方を招いて5年生の研究授業が実施されました。また同日、大瀬小学校で埼玉県国語教育研究会及び埼玉葛国語教育研究会の研究発表会が開催され、市外の先生方も多く参加され、低中高学年の授業を実施しました。児童が思考を凝らし、自分の言葉で発表、学習指導要領のとおり主体的対話的に深い学びの実現がされていたと思われまます。25日には柳之宮小学校、大瀬小学校、八條小学校で持久走大会が実施され、本日26日には大曾根小学校と潮止小学校が修学旅行から帰ってくるということで、11月は先生方も子どもたちも魅力的に活動できた月であったと感じました。

●千葉教育総務部副部長兼教育総務課長

(1) 大瀬小学校の増築について

大瀬小学校の増築について、現状と対策でございます。八潮駅周辺の児童数増加に対応するため、八潮市学校適正配置指針・計画に基づき、大瀬小学校の増築を進めておりますが、令和3年度から市内人口が減少傾向にあることや、八潮市学校適正配置指針・計画の児童数推計と住基に基づいた児童数推計に

大きく乖離があるほか、埼玉県からも改めて児童数推計を行い、増築規模の見直しを検討するよう指摘がございました。こうしたことから、改めてマンション建設や宅地分譲など、南部地区の開発状況を勘案しながら児童数推計を行い、増築する教室数を再検討するものでございます。なお、新設小学校についても児童数推計に基づき、整備する教室数などについて再度、精査するものでございます。

学校校舎の新設・増設に係る国庫負担金の申請には、工事着工の翌年から起算して10年間の児童数推計を提出しなくてはならないため、施設整備の国庫負担金の申請に必要な駅周辺の南部地区のみの児童数推計について、施設整備を担当している教育総務課にて実施いたします。

児童数の推移につきましては、平成31年をピークに今年度まで減少しております。そのほか、八潮市学校適正配置指針・計画の児童数推計と住基に基づく児童数推計との乖離がございました。年々乖離が多くなることが想定されており、令和8年度には最大で児童数の乖離が452人となり、教室数では約13教室となる見込みでございます。当初計画では児童数推計について予定しておりませんでした。計画を変更し、令和3年度中に児童数推計を実施したいと考えております。供用開始につきましても、1年遅らせ、令和6年度としたいと考えております。

## ●小林社会教育課主幹

### (1) 八潮市社会教育審議会に対する答申について

11月5日に開催された社会教育審議会において、八幡図書館公民館の大規模改修リニューアル工事に伴う新たな八幡公民館の部屋の名称と使用料の改正に対し、いずれも妥当であるとの答申をいただきました。加えて、行政サービスを支える側の市民と、利用者としての市民の間に不均衡が生じないように、それぞれの立場から理解が得られるよう十分な周知と丁寧な説明を行うこと、大規模改修の効果を発揮し、更なる利用の促進を図り、地域の生活文化の振興に寄与することの付帯意見をいただいたところでございます。今後の予定につ

きましては、八潮市立公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例案を、令和3年第4回八潮市議会定例会へ上程いたします。

## (2) 令和3年度青少年の主張大会結果について

11月13日、八潮メセナホールにて、青少年育成八潮市民会議との共催により、令和3年度青少年の主張大会を開催いたしました。当日は総勢147名の方々にご参加をいただき、市内小学校10校、中学校5校、高校2校からそれぞれ選ばれた19名の方々が、日常生活を通じて日ごろ考えていることを発表していただきました。結果は、小学生の部の最優秀賞には、八幡小学校6年生児童の「今と未来の地球のためにできること」、優秀賞2作品には、中川小学校6年生児童の「ありがとうは魔法の言葉」と大原小学校6年生児童の「優しさの連鎖反応」。中学生の部の最優秀賞には、大原中学校3年生生徒の「残すな、なんて言わない」、優秀賞2作品には、八條中学校2年生生徒の「豊かな海を守るために」と八幡中学校3年生生徒の「人の気持ちを考える」。高校生部の最優秀賞には、八潮南高校1年生学生の「虹」、優秀賞には、八潮高校2年生学生の「僕がここに存在すること」がそれぞれ受賞されました。ステージ上での発表という緊張感の中にあっても、発表者の輝かしい一面を垣間見ることが出来、大会の所期の目的を達成できたのではないかと考えているところでございます。

## ●高山文化財保護課長

### (1) 体験講座「昔の遊びツアー」について

10月23日に開催いたしました体験講座「昔の遊びツアー」の実施結果について報告いたします。今回の講座では、子どもたちに五感を使って遊ぶ楽しさを感じてもらうため、コマ、けん玉、ヨーヨー、めんこ、わりばし鉄砲、あやとり、折り紙といった昔の遊びをスタンプラリー形式で巡り、体験する内容といたしました。スタンプラリーの台紙に、一つ体験するごとにハ



ンコが押され、全てを集めた子には景品であるイワコーの消しゴムを贈呈いたしました。テレビゲーム等に慣れ親しんだ今の子どもたちにとって、体験した遊びは新鮮に映ったようで、体験後に行ったアンケートでも「楽しかった」「またやりたい」等の感想が大勢を占めています。また、今回の講座では新たな試みも取り入れました。本市と包括連携協定を締結している淑徳大学と協力し、学内で博物館学芸員の資格取得を目指す学生に講座の計画段階から参画してもらい、資料調査や配布物のデザイン製作、当日の講座運営等を進めるとともに、協力いただいた学生たちに対しては実務経験の機会を提供いたしました。計画策定時に行った学生たちとの意見交換では、その柔軟な発想力から新たに気付かされた点も多く、講座内容の充実につながったと考えております。今後、連携の更なる強化を図り、学生たちの力を活用した新たな講座の提供と博物館学芸員を目指す学生たちの支援に努めてまいりたいと考えております。

## (2) 国登録文化財の答申結果について

5月の教育委員会で報告いたしました国登録文化財候補物件に対する国文化審議会の答申結果について報告いたします。八潮市内に所在する「恩田家住宅主屋」「恩田家住宅蔵」「八條八幡神社本殿」について、国文化審議会は同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、令和3年11月19日に文部科学大臣へ新たに登録文化財に登録するよう答申しました。恩田家住宅は、主屋の間取りに松戸や流山の影響を受けた客座敷前に玄関を設ける形式をとる点や、蔵の庇に水害予備船を備える点など地域の特徴が見られ、「ふるさとの森」として保全する屋敷林とともに、八潮の農家景観を今に伝えていることが評価されました。八條八幡神社本殿は大日本帝国憲法発布式や御前会議の様子が彫刻されており、江戸時代からの埼玉県の社寺の特徴である彫刻建築の伝統を引き継ぎつつ、一般的に中国の故事に題材を求めた彫刻が多い中、当時の社会情勢を投影した時事を題材とする彫刻は希少で、趣深く、再

現することが容易でないと評価されました。後日行われる官報告示を経て、3月ごろ登録となる見込みです。

●山内学務課長

(1) 八潮市立小中学校通学区域審議会の答申について

八潮市学校適正配置指針・計画における適正配置の方向性及び、個別計画「南地区の児童・生徒数の増加への対応」に基づいて設置した「八潮市立小中学校通学区域審議会」では、新設小学校の通学区域について、本年7月から全5回の会議で審議され、11月17日に、教育委員会に対し、「新設小学校建設に伴う通学区域の設定」について答申があったところでございます。

諮問内容は、「八潮駅周辺では児童生徒数が大きく増加し、大曾根小学校及び大瀬小学校で教室不足が発生する見込みであることから、新設小学校を建設することを決定したため、この新設小学校の通学区域設定について」でございます。

各回の概要といたしましては、事務局より通学区域の設定に関する説明をし、新設小学校における通学区域の検討を中心に意見をいただきました。主な意見を資料に記載しております。特に第5回の会議では「新設校の開校まではまだ時間があるため、これまでの会議でも度々意見が出され、安全確保に役立てるための横断歩道や手押し信号の設置について、関係課へ意見を届けてほしい」との意見がございました。こちらの意見につきましては、5回の会議の中で何度も話が出ておりましたので、関係課と連携し、対応をしてみたいと考えております。

答申内容につきましては、資料のとおりですが、「新設小学校の通学区域とする事が望ましい区域について」の詳細を、併せて「付帯意見」をいただきました。

今後につきましては庁内、議会会派説明にて答申書の報告、令和4年1月10日から、「八潮市立小、中学校通学区域に関する規則の一部改正（案）」につ

いてパブリックコメントを実施する予定でございます。また、関係する町会及自治会へも、周知してまいりたいと考えております。

令和4年度以降の予定につきましては、資料のとおりでございます。

## (2) 学校給食について

学校給食について、2点ご報告いたします。

1点目は、令和3年度の学校給食費収納状況についてです。市内小学校の4月から10月までの収納率は「99.84%」中学校は、「99.06%」、小中学校の合算収納率は「99.60%」、未納額は「638,802円」でございます。各学校におきまして、集金に対してご理解とご協力をいただいております。高い収納率が保たれているところでございます。

2点目は、八潮市学校給食事業推進専門員の設置についてです。学校給食事業推進専門員は、学校給食ビジョンの策定にあたり、専門的な知識や経験をお持ちの方から助言等をいただきたいと考えていることから、新たに設置するものでございます。ビジョンの策定にあたりましてはコンサルタント支援のもと進めていこうと考えており、さらに、学校給食に特化した内容（給食経営管理に関すること・大量調理に関すること等）について専門員から助言をいただくとするもので、委嘱人数は1人、大学で教鞭をとられているような方を想定しております。設置にあたり、12月議会にて「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」として上程する予定でございます。また、報酬が月額2万円、費用弁償が1日千円を案としております。

勤務条件等につきましては、「八潮市教育委員会専門員設置要綱」を制定予定で、12月の教育委員会定例会で議案提出させていただきます。

所掌事務につきましては、教育委員会が委託した事項について調査し、必要な助言等を行うこととします。委託事項については、教育委員会で定めることとし、同じく12月の教育委員会定例会で議案提出させていただきます。

委嘱につきましては、令和4年1月の教育委員会定例会で議案提出できるよう準備を進めてまいります。

●千嶋指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 令和3年10月・11月の事件・事故報告について

合計10件ございまして、うち3件は前回の教育委員会定例会にてご報告済でございます。いずれの案件も、その後は皆元気に登校しております。

4件目、不審者情報です。声掛け案件で、事件には至っておりません。すぐに警察へ連絡し、対応済でございます。

5件目、いじめ案件です。本人と保護者が、県立総合教育センター相談窓口へ電話相談をし、教育委員会へ情報提供がございました。学校へ確認したところ既に本人が相談済みで、学校も対応をしていたところでしたが、本人が不安になって電話をしたとのことでした。引き続きの対応と、本人を注意深く見守るよう伝えたところでございます。

6―8件目、学校内における事故で、救急車を要請、搬送した案件でございます。6件目は体育授業の高跳びでマットがない場所へ着地、転倒し頭を打ってしまったため、救急車を要請、搬送しましたが、特に異常はございませんでした。7件目は喘息の発作が起き、救急車を要請しましたが、救急車内で落ちてきたため、搬送はせずに自宅へ帰り静養いたしました。8件目は合唱の練習中に貧血の症状が出たため、救急車を要請、搬送しましたが、特に異常はございませんでした。いずれの件も、皆翌日から元気に登校しております。

9―10件目は、家出案件です。9件目は親からの叱責を恐れて、10件目は親から叱責をされて家を出てしまったとのことでした。双方とも短時間で見つかり、安全確認がとれました。ただし、このところ家出案件が続いていることもあり、学校の方へは校長会を通して注意喚起をするよう話をしていく予定でございます。

## (2) 八潮市小中一貫教育「はばたき2021」研究発表会について

令和3年11月12日に八潮市小中一貫教育「はばたき2021」研究発表会を行いました。今年度は、大原中学校ブロックが研究主題を「学力・体力の向上と豊かな心を育成する小中一貫教育の推進」副題として「深める授業・高まる学力 学びを結ぶいきいきトライ」と題して「知・徳・体」の3つの観点で、八潮スタンダードとICT機器を活用した授業を公開いたしました。児童生徒が主体的に取り組む手立てとして、八潮スタンダードを徹底し、ICT機器一人一台タブレット端末の活用により、授業が深まり、学力向上につなげていく取組に、八潮市の教育、授業改善が進んできたことを感じていただけたと存じます。教育委員の皆様におかれましても、午前中の授業参観から午後の全体会に至るまで、ご参加いただきありがとうございました。

また、11月19日に八條北小学校で行われた校内研修会についてご報告いたします。昨年度、「埼玉県英語指導力改善事業」の委嘱を受け、研修を行った八條北小学校及び八條中学校が、今年度は文部科学省委託の「小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業」として外国語科の研修に取り組んでおり、合同発表会を1月28日に予定しております。その準備段階として八條北小学校、八條中学校でそれぞれ校内研修会を行っております。ご指導には1月の本発表でもご指導いただく秀明大学 学校教師学部教授 一之瀬一彦氏にお越しいただきました。今後、12月3日に八條中学校が校内研修会を行い、1月28日の八條北小学校と八條中学校による合同の研究発表会をむかえます。詳細につきましては、改めてご報告させていただきます。

### ●菅谷学校 ICT 推進課長

## (1) 八潮市 GIGA スクール通信について

本日はご報告いたします八潮市 GIGA スクール通信につきましては、第12号から第20号までの計9号となります。まず、10月21日付けで発行した第12号では、同月20日にNTTコミュニケーションズ(株)においてオンライ

ンで行ったまなびポケット実践操作研修の様子を、第13号では同月26日に行われた八條中学校での公開授業等における授業支援ソフトなどを活用した各授業での取り組みを、第14号では同月27日にオンラインで行われた令和3年度八潮市情報教育推進連絡協議会におけるスクールタクト操作研修会での内容等を掲載し、各学校に周知をいたしました。

続きまして、今月11月に発行した第15号になりますが、こちらは10月29日に潮止小学校で行われた体育授業研究会でのICTを活用した跳び箱運動の授業の様子を、第16号では中川小学校から情報提供をいただいたChromebookでのプリンターへの接続方法等の紹介を、第17号では令和3・4年度八潮市小学校プログラミング教育研究校として指定を行った柳之宮小学校でのフリーソフトなどを活用したオンラインでのプログラミング授業の状況を、第18号では今月12日に行われた令和3年度八潮市小中一貫教育研究発表会における大原中ブロック各校でのICT機器を活用した各授業での取り組みを、第19号では15日に行われた潮止中学校での公開授業等におけるICT機器を活用した各授業での取り組みを、第20号では18日に行われた松之木小学校、翌19日に行われた大瀬小学校でのデジタル教科書等を活用した授業での取り組みを掲載し、各学校に周知をいたしました。

[ 教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑 ]

○木下委員

通学区域審議会について、答申の付帯意見「今後、児童や保護者に対し、新設小学校の情報発信を十分に行うことを求める」が非常に重要であると思われます。現在、大瀬小学校通学区域である子が新設小学校へ変更となると、移動距離が増えてしまうこと等から、児童及び保護者の理解が不可欠です。情報発信の方法について、現段階でのお考えがあればお聞かせください。

●山内学務課長

新設小学校の魅力をしっかり PR するため、広報や市 HP などの媒体を活用する方法もございますが、見学会等を行い、実際に皆様に学校を見ていただくことが重要であると考えております。新しい学校なので当然設備も整っており、大瀬小学校の方が近いけれど、新設小学校に行きたいと思っただけのよう努力してまいります。

○加藤教育長職務代理

恩田家住宅主屋、恩田家住宅蔵、八條八幡神社本殿が国の有形文化財に登録されるとのことですが、指定を受けた場合のメリット等についてお聞かせ願います。

●高山文化財保護課長

文化財を保存修理する場合や公開活用に取り組む場合に補助金が交付されたり、また、所有者に対しては相続や贈与の際に税制優遇が受けられるなどの措置がございます。

○高橋委員

八潮市 GIGA スクール通信について、非常に詳細な取り組みが掲載されていて素晴らしく感じます。この冊子を教員だけではなく、保護者に対しても発行してはいかがでしょうか。

●菅谷学校 ICT 推進課長

八潮市 GIGA スクール通信につきましては、ICT を活用した各校の取り組みを共有するため、教職員を対象に各学校へ配布しております。現在は学校現場での土台作りの段階であると考えていることから、教職員の方々へ ICT の活用を広く周知することを目的としております。今後、家庭用の通信につきましても検討を行ってまいります。まずは各校で「学校だより」等を毎月発行しておりますので、そちらでの周知を依頼してまいります。

[ 教育長が定例会閉会の宣言をする ]

会議終了。

次回開催日程

令和3年第12回定例会 令和3年12月22日（水）午前9時30分

会議録作成責任者.....

会議録作成者.....

会議録作成者.....

上記会議録に相違ないことを出席者全員ここに署名する。

八潮市教育委員会

教 育 長 .....

教育長職務代理者 .....

委 員 .....

委 員 .....

委 員 .....